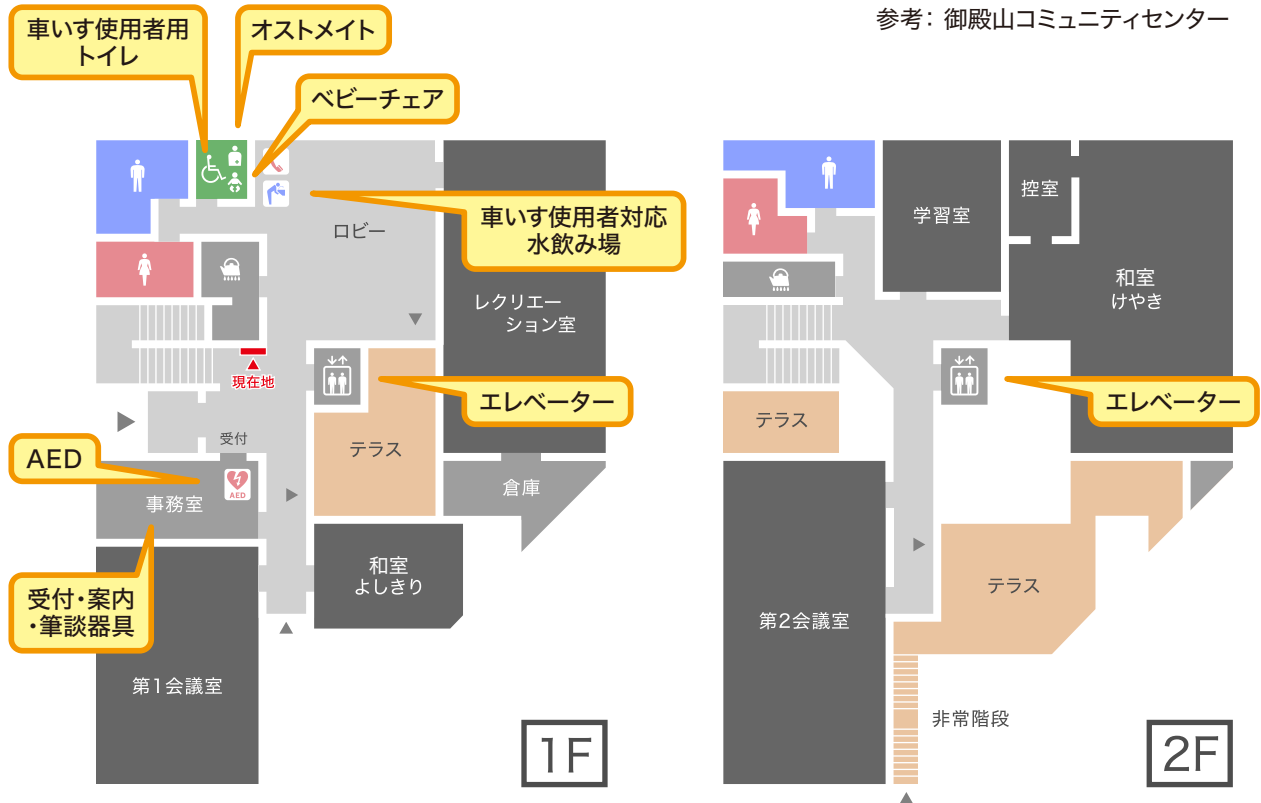


- ① 各施設ごとに、バリアフリー対応設備の施設内への配置状況がわかる案内図“バリアフリー施設マップ(仮称)”を作成することで、当事者が必要な設備が**「どの階のどこにあるのか」**ひと目で分かるようになる。

バリアフリー施設マップ 参考例



- ② “バリアフリー施設マップ(仮称)”を作成し、施設種類ごとに一覧にすることで、**「どの施設にどの設備が設置されているのか」**が横串的にわかることで外出する際の想定ができるようになり、当事者の安心感につながる。

施設名	車いすトイレ	ベビーチェア	ベビーベッド	オストメイト	エレベーター
吉祥寺東コミセン	○	○	○	○	○
本宿コミセン	○	○	○		○
吉祥寺南町コミセン	○	○		○	○
御殿山コミセン			○	○	

- ③ 横串的にバリアフリー設備の整備状況がわかることで、**“各施設間の整備状況の差が明瞭”**となり、各施設主管課の整備方針策定の情報としても役立つ。